

塩山北中学区ブロック交流研究会

「小中の連携をはかり、 塩山北中学校区の子どもたちを育てていこう」

I 主題設定の理由

塩山北中ブロックでは、これまで「地域で子どもを育てよう」という考えの実現に向け、教職員同士の連携を図ってきた。多くの児童が同じ中学に入学し、同級生となっていく。このようなことから地域の様子や子どもの実態を知る上で小・中の連携は、不可欠である。児童から生徒への成長や、既習の学習内容・授業規律などを知り、児童・生徒同士、教師同士、児童・生徒と教師の交流を図ることで、一人一人により教育効果の高い教育活動を行うことができる。学校・地域・保護者の連携の必要性が求められている中で、中学校区全体で塩山北中ブロックの児童・生徒を育てていこうと考え、本主題を設定した。

II 研究の具体的内容

1 第1回ブロック交流研究会（塩山北中学校授業参観と情報交換 中止）

2 第2回ブロック交流研究会

(1) 日時 令和2年11月4日（水） 14:00～16:30

(2) 目的 小規模校の授業の様子をブロック間で参観し、交流を図る中で、塩山北中地区のブロック研究会としての成果や課題を明らかにし、連携して子どもたちを育てていく。

(3) 場所 神金小学校

(4) 内容

ア 授業参観	1・2年	図工	大島めぐみ教諭
	4年	算数	飯田 憲政教諭
	6年	算数	保坂 恵 教諭

イ 研究会と情報交換（各教室）

・当日の授業の様子や、各校の校内研の概要を含め、小学校における教科指導（複式学級含む）や中学校の様子の情報交換

III 成果と課題

1 成果

- ・研究会では、少人数での課題も出され、各校の複式学級での様子を知れ、効果的な指導方法など情報交換で学べることができた。
- ・中学校区の各校で情報交換することで、小学校では、中学校入学までに身につけさせておきたいことなどを知ることができ今後の指導に役立てることができた。

2 課題

- ・GIGA 端末も配付されたので、活用し小小連携や小中連携を進めていくことも視野に考えていく。

IV 研究方法の工夫

- ・今年度より、1回目は中学校の授業参観 2回目を小学校（輪番で）の授業参観とした。
(ブロック長 相澤 由佳)